



子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

J P子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2023年7月号)

〒146-0094 東京都大田区東矢口2-6-14 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
https://www.kodomonono-mori.net mailto:info@kodomonono-mori.net

「J P子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



九州と秋田方面を中心に、今年も大きな豪雨災害が発生しております。

被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

温暖化が原因と思われる自然災害が、年々過激化し、増大しています。

わたしたちは、いつまでこのような悲しい出来事を繰り返すのでしょうか。

子どもたちの未来には引継ぎたくない負の資産です。

あらためてSDGsに代表される環境活動を、「わがコト」としたいと思います。

写真は、「東北復興グリーンウェイブ」で東北に送られてきたどんぐりの苗木です。

(目次)

1. 「園庭緑化運動」2023年8月オンライン講座 参加者募集開始
2. 福井県「認定こども園大野幼稚園」地域での植樹会レポート
3. リレーエッセイ (2023年7月号)
4. 子森ネットからのお知らせ

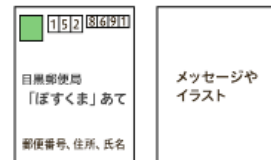
日本郵政グループからのお知らせ

日本郵政グループは「J P子どもの森づくり運動」の支援のほか、子ども達に向けた様々な取り組みを行っています。

【特別協賛】



お手紙をくれたみんなに
ぽすくまからお返事が届くよ!



ぽすくまの動画はこちら



YouTube
ぽすくま【日本郵便】
https://www.youtube.com/channel/UCeio0TZWe2WgapX_NqUUZ9A

ぽすくまと仲間たち

© JAPAN POST Co., Ltd.

ぽすくまと仲間たちは日本郵便のキャラクターです。ぽすくまは、くまのぬいぐるみのみんな手紙が大好きです。

あて先はこちら

〒152-8691
目黒郵便局 「ぽすくま」あて

※ぽすくまへのあて先を記入の際、保護者の方のサポートをお願いします。返信ご希望の場合は、手紙に住所（建物名・部屋番号まで）・氏名を忘れず記載ください。

1. 「園庭緑化運動」2023年8月オンライン講座 参加者募集開始

J P子どもの森づくり運動では、昨年に続き、JP子どもの森づくり運動「園庭緑化運動」の普及を目的に「国際校庭園庭連合日本支部」との共催で、園庭緑化・自然化をテーマにすぐれた研究や活動を実践されておられる方々にご出講いただき、多様な園庭づくりの事例を学ぶオンライン講座を実施します。今月は8月講座として、子どもたちの原風景としての里山づくりに取り組んでおられる「認定こども園さざなみの森」難波元實（なんば もとみ）先生の講座をお送りします。受講費は無料ですが、受講者数が限定されています。ご希望の方は早めのお申込みをおすすめします。皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

1) 実施概要

- ・日 時：2023年8月22日(火)14:00～16:00
- ・主 催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク
- ・共 催：国際校庭園庭連合日本支部
- ・特別協賛：日本郵政グループ
- ・協 力：(公社) こども環境学会
こども環境研究所ギビングツリー
- ・講 師：認定こども園さざなみの森
理事長 難波 元實（なんば もとみ）先生
- ・テ ー マ：こどもの里山づくり45年とこれから
～里山の風景を子どもたちの原風景に～
- ・コーディネーター：仙田 考（せんだ こう）先生
田園調布学園大学大学院 人間学研究科 子ども人間学専攻
准教授 国際校庭園庭連合日本支部 代表
- ・参加費：無料
- ・申込締切：8月17日(木)* 先着30名まで。



【難波先生】



【仙田先生】

2) 申し込み方法

J P子どもの森づくり運動ホームページ、及び右のQRコードからお申し込みください。



3) 難波先生からのメッセージ

自然豊かな里山に幼稚園を開園して45年になります。

その間、時代とともに変化する子どもたちの姿に合わせて、私たちも変わっていきました。

「なぜ変わったのか」「どのように変わったのか」をお話したいと思います。

「里山を見ること」から「里山の中で遊び」そして「里山資源を利用して、保育環境づくり」と展開し、これから「地域課題の里山を守ろう」という運動にまで広がっていきます。

その変遷史と一緒に旅してみませんか？

2. 福井県「認定こども園大野幼稚園」地域での植樹会レポート

参加園が、地元のどんぐりを拾い、苗木に育てて、地元の森や公園に植えるというJP子どもの森づくり運動の基本形となる活動事例をご紹介します。今回は、福井県「大野幼稚園」の素晴らしい活動を、園のレポートをご紹介します。

1) 活動概要

5月27日（土）大野市前坂キャンプ場にて、どんぐりの苗木の植樹に親子で出かけました。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、植樹は中止となりましたが今年度は12組の親子と職員で約40本の苗木を願いを込めて植樹しました。色鮮やかな新緑のもと、懸命に苗木を植えるお父さんお母さんと一緒に、小さな手で苗木を植える子ども達の姿が印象的でした。また、大野郵便局の方も駆けつけて下さり、子ども達と一緒に汗を流しながら植樹してくださいました。（園レポートより）

・日時：2023年5月27日(土) 午前9時～午後2時

・場所：大野市前坂キャンプ場

・参加者：園児、保護者、卒園児、保育教諭 41名

・日本郵政グループ参加者：大野郵便局

・活動内容

①現地へ移動 大型バス1台

②園長挨拶

③大野郵便局 総務部課長 酒井さん挨拶

④植樹活動

⑤自然遊び（かもフラージュ）

フィールドのマップを見ながら、自然の中で隠された人工物を探したり、各エリアで聞こえる音を聞き、マップに書き込む

⑥記念撮影、昼食、自由行動

2) 活動風景



【開会式】大野郵便局 総務部 酒井課長さんあいさつ



【植樹活動】



【自然あそび】かもフラージュ



【記念撮影】

3. リレーエッセイ (2023年7月号)

岩井 光子さんのリレーエッセイ「SDGs入門」の今月号は、SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」についてです。

「海の酸性化」を防ぐ、ブルーカーボンプロジェクト「海の森づくり」とは。このままだと、寿司が食べられなくなる？ 大変です！

【SDGs入門】

私たちの食卓にも影響を及ぼす海の酸性化 注目のブルーカーボンとは？

ライター 岩井 光子



「寿司が食べられなくなる日」というキャンペーンをソーシャルベンチャーのユーグレナが2019年に展開して話題を集めました。温暖化で海洋生態系がダメージを受けている深刻な状況を、日本近海でとれるおなじみの寿司ネタが消滅する未来に置き換え、最後の日を有識者と予測したのです。

予測によれば、2035年にはイカナゴ、2041年にはシャコ、2049年にはサーモンとイクラが、それぞれ生息地の環境変化により食べられなくなる可能性があるそうです。海の生態系破壊は、私たちの食卓にも大きな影響を及ぼす問題です。

温暖化と共に憂慮されているのが海の酸性化で、海水に溶け込むCO₂の増加に伴って、海水のpHバランスが低下する現象です。アメリカ海洋大気庁（NOAA）の調査データによれば、昨年の世界の海水pHは8.1。今後の進行をシミュレートしていくと、2050年にはpH7.9、2100年にはpH7.7まで下がるそうです。最悪の場合、海に生息する生き物の約20%が消えてしまうと予測されています。

実際に、このシミュレーションを裏づける異変が世界各地で確認されています。海洋調査船「みらい」が2020年、北極海を調査したところ、プランクトンの一種、翼足類の殻が所々薄くなったり、穴があいたりしていることが確認されました。生息数は2004年比で2019年には5分の1にまで減少したそうです。海の生きものは食物連鎖でつながっていますから、この影響はプランクトンをえさとする体の大きな魚たちにも及びます。例えば、私たちの食生活になじみの深いサケは翼足類を主食にしている魚です。

近年、植林などのグリーンカーボンに対し、海に植林する「ブルーカーボン」というキーワードが注目されています。海に森を作る活動です。日本の海では、漁師やダイバーなどが磯焼けと呼ばれる現象で、浅海の藻場が急速になくなっていることを危惧していました。神奈川、鹿児島など全国各地の海で藻を養殖・移植し、藻場を回復させる産官民連携のブルーカーボンプロジェクトが続々と立ち上がっています。

SDGsの目標14に「海の豊かさを守ろう」があります。子森ネットの活動は、陸の森と子どもたちの心を豊かにする活動ですが、この夏は海の「植林」のニュースも気に留めてみてください。

※【筆者紹介】岩井 光子氏：ウェブメディア“think”編集。SDGs関連の記事をニューズウィーク日本版、ELLEなど、一般誌で執筆。群馬県高崎市在住。



CC:VA Institute of Marine Science(VIMS)
https://www.flickr.com/photos/vims_photos/46757177014/



ブルーカーボンネットワーク

4. 子森ネットからのお知らせ

今年5月の「東北復興グリーンウェイ」岩手県大槌町の活動が、日本郵政グループさんのJP CASTで紹介されています。子どもたちの生き生きとした活動が伝わるとてもいい記事です。是非、ご覧ください。右のQRコードからご覧いただけます。

